

ポライトネス的な視点からみる中国語の禁止・注意表現

——街の標示を中心に——

中西千香

1. はじめに

本稿は、中国の街でみられる禁止・注意表現を<禁止性>の強さ、ポライトネス的な視点から検討することを目的とするものである。

中国大陸の街を歩いていると様々な禁止・注意表現を目にする。この禁止・注意表現には、強く禁止するものから、禁止するというよりも、表現を工夫して、婉曲的なものや訴えかけるようなものまで、バラエティに富んでいることにも気づく。

これらを<禁止性>の強さ、ポライトネス的な視点でみた場合、禁止・注意表現を掲げる側からそれを目にする読み手への何らかの思いや伝え方など、注目できるところも多い。

通常の会話では、協調性を保つためにいわゆる「協調の原理」が成立する。そして、実際のやりとりでは、4つの「格律（質・量・関係・様態）」において、「格律の逸脱」が生じて、「言外の含み」を持ったり、また、ポライトネス的になったりする。

今回とりあげる禁止・注意表現は、基本的に「言外の含み」が少ない。つまり、通常の対話で起こる、親疎や性別、年齢、立場など、両者の関係を考慮することが少ない。したがって、「格律の逸脱」も起こりにくい。なぜなら、街の禁止・注意表現は、対象がその標示をみる不特定の人々であり、標示をみる人に向けて、一方的に禁止・注意を投げかけるだけだからである。

ただ、実例をみると、内容を伝えるだけのものから、その標示をみる人々に向けて、何らかの「含み」を持たせたもの、配慮表現、ストラテジーをもって伝えるものがある。

ここでは、実際に採取した中国国内（簡体字使用地域）の標示から、用例とともに、<禁止性>の強さやポライトネス的な視点でみてみたい¹⁾。そして、何がポライトネスマーカとなるのか、どういったストラテジーで伝えているかを概観したい。

2. 先行研究

街中の標示などの中国語の禁止・注意表現については、李奇楠 2011、彭广陆 2018 が非常に参考となる。

李 2011 は、禁止表現の日中対照したものである。本稿では取り扱わない、街の標示以外の禁止・注意表現までを取り扱っている。本稿にかかわるところでいえば、4.5.3 で扱う、自然保護、植物保護の例を挙げて、「《禁止》機能を果たす配慮表現」として、一部取り上げて、強い禁止から弱い禁止まで存在することに触れている。

彭 2018 は、街中の標示などの禁止・注意表現に特化して、日中の表現を対照している。彭 2018

では、これらの文を<禁止文>と名付け、日中それぞれの<禁止文>に対して、きめ細かな分析を行い、さらに本文でのちに触れる<禁止性>というものにも言及している。

ただ、彭 2018 は、筆者のいう中国語の禁止・注意表現をすべてあげているわけではない。また、よりコアな禁止を表すマーカーのある表現のみをその範囲としており、複文の従属節をみるなど、周辺的な要素は最小限にしている。

本稿では、今回は禁止を表すマーカーを含むものから、禁止・注意を直接いわずに促す表現までをその範囲とし、どのように読み手にアプローチしているかをみていくことにする。

3. 禁止・注意表現、ポライトネス的視点について²⁾

本論に入る前に、「禁止・注意表現」と「ポライトネス的視点」について説明しておく。まず、ここでの「禁止・注意表現」についてだが、彭 2018:37 での表現を借り、さらにつけくわえていうなら、

「ある動作を実行しないように、命令したり、依頼したり、注意を促す、ある動作・行為の不実行を要求する意を表す文（彭 2018:37 より一部変更）」

ということになるか。ここでは、強い禁止を表すものから、それほど強くない注意を促すものまで、はなはだしくは、動作・行為を禁止・注意を促すマーカーを全く持たないが、それは暗に禁止・注意を匂わせる、促すものまでをとりあげる。直言はせず、婉曲表現で読み手に訴えるものは、<禁止性>が弱まり、ポライトネス的な表現に移行していると判断できる。

次に「ポライトネス的視点」について考える。一般にいうポライトネスとは、**対話の中で相手からの印象を適切または良好に保つための配慮表現のこと**をいう。

まず、「協調の原理（会話が円滑に行われていることを想定される）」が成立する前提において、協調的であることを保障するものが「会話の格律/公理」であり、以下の4つの要素に分けられる。そして、今回取り扱う、中国語の禁止・注意表現からは、以下のような傾向が読みとれる。

- ①質（真偽）：より真の情報であることが多いが、偽に向かうことはポライトネス的表現に動いていると考えられる。
- ②量（分量の多少）：少ない。より簡潔に、短く表現する（書面語に傾く）。長くなっていくことで、直言的ではなくなり、配慮した表現となる。
- ③関係（関連性）：情報の受け取り手は不特定多数、時に限定的であるが、いずれにせよ一方的投げかけであり、いわゆる「やりとり」ではない。
- ④様態（曖昧さの有無）：基本的には曖昧さは無く、非常に簡潔、明確である、より婉曲的な表現になれば、明確さが落ち、曖昧な表現になる。

通常の会話では、円滑なコミュニケーションをはかるために、上で挙げた「格律の逸脱」が容易に起きる。しかし、今回取り扱う注意・禁止表現の場合は、「格律の逸脱」が起きにくい。中国の街中でみられる中国語の禁止・注意表現では、通常の会話で起きるような「逸脱」とまではいえないが、次節でみるような、ポライトネス的な表現がみられる。

なお、以下では実際の街中でみた用例を紹介していく。それぞれ筆者による日本語の翻訳を付し、なるべく語感を寄せた翻訳に努めるが、その語感を伝えきれないことをここにお断りしておく。

4. ポライトネス的にみた街の禁止・注意表現について

中国語の街の禁止・注意表現は、類似した表現の間でも、軽い「格律の逸脱」が起きている。端的な意思伝達だけではなく、相手を配慮する注意・禁止表現もある。以下では、「格律の逸脱」がない例から、ポライトネス的な表現をする例までを順にみていく。

4.1 直言“严禁……、禁止……、不准……、谢绝……、勿……、莫……”、“免……”“小心……、当心……”

これらの例は、禁止・注意事項を直接的に伝える、「格律の逸脱」が最も起きない例である。街の看板の特徴でもある、書面語を用い、端的に、短く禁止事項を述べている。

- 1) 此区域周边严禁燃放烟花爆竹（このエリア周辺での花火爆竹厳禁）/ 严禁跳水（飛び込み厳禁）
- 2) 禁止宠物入内（ペット連れ込み禁止）/ 禁止车辆入内（車両入構禁止）/ 禁止依靠（よりかかり禁止）
- 3) 谢绝自带酒水（お酒持ち込みお断り）
- 4) 勿踏草坪（芝生に入るな）
- 5) 闲人免进（関係者以外立ち入り禁止）
- 6) 小心地滑（滑りやすいので注意）/ 危险！小心坠物（危険！落下物に注意）

彭 2018:58 では、“強：严禁、切勿，中：禁止、不要、勿、不得、不，弱：请勿，请不要”と分けられている。筆者は、書面的表現と口語的表現の差も考慮に入れるべきであるし、また二人称“您/你”が入ることでさらに丁寧さのレベルが上がると考えるので、簡単には結論は出せないと考える。また、彭 2018 では、配慮のマーカ―となるものには、“请”のみをあげているがそれだけではないことをこの後述べていく。

そして、5) についても直言型としてとりあげたい。5) は、書面語でしか使えない、かなり硬い表現である³⁾。しかし、すべての“免+動詞”がそうなるわけではない。後ろにつく動詞との結び付きの度合いによって、例えば、“免洗（洗浄不要=洗わずに（食べられる）=そのまま食べられます）”、“免熨（アイロン不要=形状記憶型のシャツ）”のように、「～不要、～しないでいい」のような禁止の表現にならないものもある。

なお、6) の“小心/当心”の類は、あくまで注意であり、強い禁止とはいえない。しかし、表現としては直言であり、「格律の逸脱」もみられないので、この直言型のグループに入れた。もちろん、他の直言表現よりは配慮的な表現である。

この直言の形から、少しずつ「格律の逸脱」が起きていく。以下をみていこう。

4.2 “请”や口語表現“不要”が入るもの

以下は、内容的には直接的な表現ではあるが、“请”や口語表現“不要”が入り 4.1 に比べ、少し配慮した表現になる。

- 7) 请勿入内（中に入らないでください）/ 请勿翻越（飛び越えないでください）/ 请勿吸烟（煙草を吸わないでください）/ 请勿摆卖（露店を開かないでください）/ 请勿坐卧停留（座ったり寝転んだりしてとどまらないでください）/ 请勿乱扔废弃物（ゴミをみだりに捨てないでください）/ 请勿往水槽里倒杂物（シンクにゴミを入れないでください）/ 请勿乱扔垃圾（ゴミを捨てないでください）
- 8) 请不要让手机挡住您前进的方向（スマホであなたが進む方を阻まないでください=歩きスマホによる

滞留を禁止する＝地下鉄の通路)

7) は、“请”を加えることで、語調を弱め、この標示をみる人たちへの配慮がみられる。また、8) 自体は日本語に訳すとやや複雑な表現にはなるが、“不要”を用いて、口語表現にし、日本語でいうなら「するな」や「～禁止」から「しないでください」のような、より配慮した表現になっている。

中国語の禁止・注意表現のデフォルトが、書面語的表現であるならば、口語表現を使うことは、標示をみる人たちへの配慮が生まれ、「格律の逸脱」がわずかながら起きる。

4.3 “请您/你……、谢谢合作!、亲爱的……、温馨提示、友情提示、提醒您”が入る例

ここでは4.2でみた注意喚起に加え、前後に上記の謝辞をあらわすものや注意を促す要素が足された例をみる。

- 9) 请您到邻台付款, 谢谢! (隣のレジでお支払いください、ありがとうございます。)
- 10) 请您先轻轻的敲敲门 谢谢合作! (まず軽く戸をノックしてください、ご協力ありがとうございます。＝トイレの標示)
- 11) 亲爱的宾客: 您如果需要更换面巾, 请将面巾放在盆内。谢谢配合! (親愛なる宿泊客へ、タオルのお取替えを必要とする場合は、タオルを洗面台のシンクの中に入れてください。ご協力ありがとうございます。＝ホテルのユニットバス)

まず、9) から11) は、注意事項(お願い)を述べた後、謝辞を述べるパターンである。この言い回しは、中国語の独特のものともいえよう。中国語的思考では、依頼した後、依頼が成就される前に謝辞を述べる。謝辞によって、相手に対し、念を押し、その通り動いて欲しい、そのことに感謝するというニュアンスを持つ。

ここにはさらに、二人称“您/你(あなた)”が入り、この標示をみる相手は不特定多数でありながら、標示をみた相手への配慮がみられる。二人称“您/你”が入ることで、他の誰でもない、その標示をみた「あなた」に伝えているというニュアンスの重みが増す。これはさらなる丁寧さを持つといえる。

11) の“亲爱的……(親愛なる)”と続く例も、対象をせばめ、親近感を持たせている。なお、これら表現の後は、4.1 や4.2 の言い回しが混在している。

また、類似的な例に12)がある。ムスリムの寺院での例である。ムスリムの寺院は、礼拝は男女分かれて行う。このような例のように、対象の範囲を限定し、親近感を持たせているものもある。これもポライトネス的な動きの一つとみることができる。

- 12) 穆斯林姐妹们: 上殿脱鞋 请关手机 (ムスリムの女性教徒のみなさまへ、礼拝所に入るときは靴を脱ぎ、スマホはOFFにしてください)

次に、“温馨提示(優しいお知らせ)、提醒您(あなたに注意喚起します)”などが足される例をみよう。4.1 や4.2 の禁止・注意だけでもその標示をみた相手には伝わる。しかし、以下の例のように、“温馨提示(優しいお知らせ)、友情提示(友情あるお知らせ)、提醒您(お知らせします)”があるだけで、禁止・注意の前にワンクッション置く形となり、標示をみた相手への優しい注意、依頼のニュアンスがより強まる。

このようなワンクッション置いた表現は、北京オリンピック(2008)前後から、多くなってきていると筆者は感じる。

- 13) 提醒您 小偷常出没 车子莫忘锁 (あなたにお知らせ、泥棒がよく出没します。自転車のロックを忘れ

ずに。)

- 14) 友情提示：请冲水（友情あるお知らせ、水を流してください=トイレの標示）
- 15) 温馨提示：请勿随地吐痰（優しいお知らせ、痰やつばをどこでも吐かないでください。） / 温馨提示：请看完后将书籍放回原处（優しいお知らせ、読み終わったら書籍は元の場所に戻してください。） / 温馨提示：请勿乱停车（優しいお知らせ、どこでもむやみに駐車しないでください。） / 温馨提示：请将手纸扔入篓内（優しいお知らせ、トイレットペーパーはくず入れに入れてください。） / 温馨提示：如厕后请冲水 不要乱丢杂物（優しいお知らせ、トイレを済ませたら流してください、ごみは指定されたところにお捨ててください。） / 温馨提示：请保持病区安静（優しいお知らせ、病院施設内はお静かに） / 温馨提示：节约用水 小心烫伤（優しいお知らせ、お水は大切に、やけどに注意） / 温馨提示：请保管好随身携带物品（優しいお知らせ、身の回りのものはちゃんと管理してください。=盗難注意） / 温馨提示：垃圾请投至此处（優しいお知らせ、ごみはここにお捨ててください。）

これらの例をみると、仮に禁止・注意の前に“温馨提示、友情提示、提醒您”などを置かずとも、それだけでも十分に伝わり、きつい表現でもない。しかし、禁止・注意事項が述べられる前に、これらがあることで、これから「注意、喚起、依頼をしますよ」というマーカーとなり、いきなり「注意、喚起、依頼」をしないところが相手への配慮、丁寧さとなる。

4.4 目的・理由など、因果関係を述べるもの

上記では、禁止・注意表現をするのみのものをみてきた。4.4は、なぜその禁止・注意事項が必要か、その因果関係を述べた例である。因果関係は、禁止・注意事項の前後にでてくる。これらは、当然、上述の表現に比べ、文字数の上でも長くなる。また、禁止・注意だけでなく、似た言い回しで語りかけるもの、スローガンのなものも出てくる。

以下の例をみていると、訴えたいことは上でみてきたような禁止・注意事項なのである。しかし、もう少し言葉を足して、丁寧さのレベルをあげている。

- 16) 地面湿滑，请小心慢慢走。（床が湿って滑ります、気を付けてゆっくりお歩きください。）
- 17) 请勿赤脚 容易跌倒（はだしにならないでください、転びやすくなっています。）
- 18) 请爱护环境 不要乱扔垃圾（環境を守るため、どこでもむやみにごみを捨てないでください。）
- 19) 禁止吸烟 您已经进入无烟地域 请自觉遵守（喫煙禁止、あなたはすでに禁煙エリアに入っています、自覚をもって遵守してください。）
- 20) 尊敬别人 健康自己 请不要在车内吸烟（他人を敬い、自らも健康でいられるために、車内でたばこを吸わないでください。）
- 21) 禁止吸烟 为了您和他人健康，请勿吸烟（喫煙禁止、あなたやほかの人の健康のために、たばこは吸わないでください。）
- 22) 请勿将您的电脑放在空调出风口下，以防滴水淋湿！（水滴が落ちて濡れないように、あなたのパソコンをエアコンの送風口の下に置かないでください。）

上の19) から21) のいいたいことは「禁煙」なのだが、それをいうために、場所に合わせて、手を変え、品を変え、「禁煙」であることを伝えている。

- 23) 温馨提示：无人售票 请自己找零（優しいお知らせ、車掌はいませんので、ご自身で小銭をご用意ください。）
- 24) 温馨提示：为了您的孩子的生命安全，请您不要带正在输液的孩子离开儿科门诊！（優しいお知

- らせ、あなたの子供の生命の安全のために、点滴を打っている子供を連れて小児科内から離れないでください。)
- 25) 北京動物園提醒您：为了您和动物的安全，请您不要跨越栏杆。为了动物的健康，请您不要投喂动物。(北京動物園からあなたにお知らせ、あなたと動物たちの安全のために、柵を越えないでください。動物の健康のために、動物たちにエサをやらないでください。)
- 26) 温馨提示：您已进入视频监控区域，请洁身自爱！（優しいお知らせ、あなたはすでに監視カメラの監視内に入っています、自覚ある行動を。)
- 27) 温馨提示：适量取食 请勿浪费（優しいお知らせ、適量を取って、無駄にしないでください。)
- 28) 温馨提示：请按需取食 节约为善 请勿浪费（優しいお知らせ、必要分を取ってください。節約は善行です。無駄にしないでください。)
- 29) 温馨提示：请勿触碰 损坏照价赔偿（優しいお知らせ、触らないでください。壊したら弁償になります。)
- 30) 温馨提示：电视易碎 小心碰撞 如有损坏 按价赔偿（優しいお知らせ、テレビは壊れやすいです。ぶつからないように気を付けてください。もし、壊したら弁償になります。)
- 31) 温馨提示：请保管好您的随身物品 丢失后果自负（優しいお知らせ、身の回りのものはちゃんと管理してください。なくした場合は自己責任となります。)
- 32) 温馨提示：请保管好您的随身物品，如有遗失，本酒店恕不负责！（優しいお知らせ、身の回りのものはちゃんと管理してください。もしなくしても、本ホテルは責任を負いかねます。)
- 33) 温馨提示：贵重物品，请妥善保管 丢失概不负责（優しいお知らせ、貴重品は、適切に管理すること、なくしても一切責任を負いかねます。)
- 34) 温馨提示：尊敬的宾客请保管好自己的手牌，现金，手机或交吧台保管，否则遗失概不负责。谢谢合作（優しいお知らせ、尊敬するお客様、自分のキー、現金、スマホはちゃんと管理するか、カウンターに預けてください。もしそうせずになくした場合は一切責任を負いかねます。ご協力ありがとうございます。)

以上は、さらに“温馨提示”も追加されて、因果関係が述べられる例である。

25) の北京動物園の例は、“北京動物園提醒您”によって、誰からあなたにお伝えする注意事項なのかまで説明し、何のための、誰のための注意なのか、非常に丁寧に書かれている。27)、28) の例は、レストランなどでよくみられる、食べ残しを減らすよう促す標示である。最後の34) は“温馨提示”、“尊敬的宾客”を付けた上で、何をすべきかとも具体的に説明し、注意を促した例である。

こうしてみると、非常に短くコンパクトに述べたものから、これまでみてきた丁寧さのレベルをあげる表現がいまって、かなり長くものまであることがわかる。

4.5 相手を示す“亲”、語気助詞“哦/喔”が入るもの、説明的、スローガンのもの、直接的な禁止表現を回避するもの（行為回避）

次は禁止・注意に、別の要素を足され、婉曲的な表現になり、さらに「格律の逸脱」が起きている。口語的表現や文字数をそろえるために対句的、スローガンのものがあったり、最終的には直言を避けた、いわゆる「行為回避」の文になっている。

以下の例は、特に4.5.1 ゴミ捨て禁止の環境保全、4.5.2 電気、水道、紙などの資源の節約、4.5.3 自然保護、植物保護、4.5.4 禁煙の表現を例に、より直言の表現から、婉曲（擬人化を含む）の行為回

避までを個別にみていく。

4.5.1 ゴミ捨て禁止の類の例

以下は、「ゴミ捨て禁止」の例である。「どこでもむやみに捨ててはいけない」ことを、「ゴミ箱に入れること」や「持ち帰ること」を促したり、さらにゴミを擬人化したり、抽象的な表現で、行為回避をして、環境美化に務めるよう伝えている。

- 35) 温馨提示：垃圾入桶 文明之举（優しいお知らせ、ごみはゴミ箱へ：モラルある行動です。）
- 36) 温馨提示：请将纸巾等杂物 丢进垃圾桶哦 随手冲一冲干净又轻松（優しいお知らせ、トイレトーパーや汚物はゴミ箱に入れてくださいね、ついでに流して、クリーンで気分もすっきり。）
- 37) 垃圾不会走路 请送它们回家（ごみは歩けません。おうちまでもって帰ってください。）
- 38) 保护环境 人人有责（環境を守りましょう。それぞれに責任があります。） / 保护环境从我做起（環境を守りましょう、私からはじめます。）
- 39) 保持环境清洁 做位可爱的人（環境の美しさを守り、かわいい人になりましょう。）
- 40) 你我多一份自觉 环境多一份清洁。（私たちに自覚が少し増えれば、環境の美しさもその分増えます。）

35) は、ゴミはゴミ箱に捨てることがモラルある行為と伝えている。抽象的な“文明（モラル、モラルある行為）”というキーワードでもって、禁止行為を伝える婉曲表現は、以前より増えている。

36) はトイレの中の標示の例である。語気助詞“哦”で、通常の禁止表現より語調をやわらげ、標示をみた相手への配慮、親近感を持たせている。

37) では、ゴミは「歩けない」と擬人化し、ゴミの持ち帰りを促している。38～40) は、行為回避の表現で、具体的な禁止行為をいわず、スローガンのような表現でもって、環境保全を促し、伝えている。また、40) でみられる“大家”とはいわず、“你我（時に“你我他”）”でいうところは、誰に向かっていっているのかという点をより具体的に指し示し、より丁寧に標示をみる相手に伝えている。

4.5.2 節約の例（水、電気、紙など）

以下は、「節約を促す」例である。直接、節水、節電、紙の節約を直接いわず、抽象的な表現や、また「節約」とは異なる具体的行為を促すことでこれらを伝える。

- 41) 亲！走时，请别让我流泪！（お客さま、ここから離れるときに、私に涙を流させないで。）
- 42) 亲！水龙头会哭泣，请不要让它流泪哦。（お客さま、蛇口が泣いてしまうかもしれません、涙を流させないでくださいね。）
- 43) 下班了，记得锁门关灯哦！（仕事を終えて帰るときは、戸締り、明かりの OFF を忘れないでね。）
- 44) 下课无人时，请关上灯，好吗？（放課後人がいないときは、電気を消してくださいね。）

41)、42) は、第二人称“亲！（親愛なるお客様）”を用い、さらに水道の蛇口を擬人化させ、「泣かせないで」と行為回避をした例である。43) は口語的表現“记得（忘れずに）”で戸締りや電気を消すことを直接伝えている。また、文末には語気助詞“哦”がある。これら表現は、口頭でいってもきつい表現にはならず、また標示としてみても親近感を持つ。44) は、北京語言大学の教室にある標示である。外国人留学生に向けてのものかもしれないが、“无人”と書面的表現がある一方、最後は“好吗”と口語的に終わっている。

- 45) 温馨提示：下班前请关电，关水，关空调（優しいお知らせ、仕事を終えて帰る前に、電気の OFF、蛇口を締めて、エアコンを消してください。）

- 46) 温馨提示：空调开放 人离关闭 感谢您的节约行为（優しいお知らせ、エアコンがついています。人が離れるときは OFF に。あなたの節約の行為に感謝します。）
- 47) 节约用纸 珍惜资源（紙は節約しましょう、資源を大切に。）
- 48) 温馨提示：保有资源为子孙，擦手不超一张纸。（優しいお知らせ、資源を子孫に残しましょう、手を拭くとき紙は一枚まで。）
- 49) 温馨提示：水是生命之源 关注点点滴滴（優しいお知らせ、水は命の源です。一滴も逃さない）
- 50) 温馨提示：珍惜生命之水 关注“点点滴滴”（優しいお知らせ、命の水を大切に、一滴も逃さない。）
- 51) 温馨提示：蓄养资源为后代，点滴节约自我始。（優しいお知らせ、資源を後世まで守る。一滴の節約を私からはじめる。）
- 52) 温馨提示：随手关灯一小步，节约能源一大步（優しいお知らせ、明かりを OFF する小さな一歩は、資源を節約できる大きな一歩。）

48) は紙の節約の例であるが、資源は守るもの、子孫まで守ることも添えている。49)、50) は水の大切さ、節水を訴えるスローガンのようなものである。さらにスローガンのようなものが 51) である。52) は“一小歩”、“一大歩”と呼応させ、スローガンのようにして、協力を求めている。この例から思い出されるのは、53) のような、トイレを清潔に使うことを伝える行為回避の例である。

- 53) 温馨提示：向前一小步 文明一大步（優しいお知らせ、小さな一歩はモラルへの第一歩）
- 54) 你离文明，只差半步喔！（モラルある行為まで、あと半步だけ足りません。）

54) の例も、53) と同じく、便器に近づくことで、とりわけ男性用の小トイレの衛生が保たれることを伝え、促している。

4.5.3 自然保護、植物保護の例

自然保護、植物保護の例は、上でみた 4.5.1、4.5.2 の例に比べ、表現の広がりが見られる。草木の青さ、美しさをうたいつつ、草木を「摘むな、折るな、踏むな」の表現が、直言的なものから、より遠回しに、禁止行為をしないように別の表現で伝えたり、さらに擬人化させたりと、行為回避の表現になる。

今回、“爱护生命 享受自然（生命を守り、自然を享受する）/ 爱护小草 关怀生灵（草木を愛し、生きとし生けるものに配慮する。）” のようなさらに抽象的な、スローガンのような例については多く述べない。

- 55) 请不要攀折花木（花や木を折ったり上ったりしないでください。）
- 56) 爱护脚下草 莫折枝头花（足元の草を守ること、枝や花を折らないこと。）
- 57) 青青草坪 绕道而行（青い芝生、遠回りして=芝生を踏まないでください。）
- 58) 青青花草 请勿摘采（青く茂る草花を摘まないでください。）
- 59) 爱护花草 请勿践踏（草花を大切に、踏まないでください。）

上は「格律の逸脱」が少ない例である。より直言的な表現で、植物愛護を伝え、促している。56) は、直言せずに、草木に危害を加えないための「遠回り」という行為でもって、踏み入れないことを伝え、促している。次の例では、植物に人称代名詞が用いられ、擬人化される。

- 60) 爱我护我 别踩我！（私を大事に、私を踏まないで。）
- 61) 别摘我，喜欢我就天天来看我。（私を取らないで、私が好きなら毎日みに来てください。）
- 62) 请别攀爬 你疼我也疼（木に登らないでください。あなたも痛いし私も痛い。）
- 63) 为了我的美丽 望您脚步留神（私の美しさのために、あなたが足もとに注意してくださることを望み

ます。)

- 64) 您的呵护 使我更加美丽 (あなたの愛護の気持ちは 私をより美しくする。)
- 65) 你给我关爱 我送你清新 (あなたが私を思いやってくれるなら、私はあなたにすがすがしさをプレゼントします。)
- 66) 温馨提示：给我一个生命 展示我的美丽 (優しいお知らせ、私に命をください、私の美しさをみせます。)

60)、61) では、植物が“我(わたし)”となり、その標示をみた相手は登場しないが、標示をみた相手に向かって、「花を摘まない」ことを伝え、促している。62) 以降は“我”と“您/你”がともにでてきて、相手“您/你”に向かって、植物“我”が語り掛ける形で、自然保護、植物保護を訴えている。この擬人表現は、この植物保護の表現に多くみられる。

また、人間的な動作、感情表現を使うことで擬人化するとともに、標示をみた人にまで、擬人化された植物への感情を注ぐ以下の例がある。

- 67) 青青的草 怕您的脚 (青い草たちはあなたの足を怖がります=踏まないでください。)
- 68) 花草有意 足下留情 (草花には気持ちがあります。足には配慮の気持ちを持って。)

67) は「足を怖がる」と表現し、68) も草花が意思をもつ生き物として表して、ピンポイントの足に同じ草花を守る気持ちを持つように伝えている。69) は、“休息”や“睡觉”を用いて、擬人化している。70) は、さらに“嘘……(しー!)”とまるで人が眠っているところを邪魔しないようにと注意を促す。71) は、“长/生长”で、可視化しきれない植物の成長を伝え、植物を踏まないように訴えている。

- 69) 小草在休息 请勿打扰 (草たちは眠っています。邪魔はしないでください。)/ 小草正睡觉 请勿打扰 (草たちは眠っています。邪魔はしないでください。)
- 70) 嘘……我正在休息 请勿打扰! (しー! 私は眠っています、邪魔しないでください。)
- 71) 小草也在长 踏入想一想 (草たちも成長しています。踏み入る前に考えて。)/ 小草正在生长 踏入想一想 (草たちは成長しています。踏み入る前に考えてください。)

72) 以下は、草花が微笑みかけているという類の例である。笑顔振りまいている相手を傷つける行為は、モラルに反することであると標示をみる相手に訴えかける。

- 72) 花儿也有生命，您若手下留情，花儿会对您笑得更美丽。(お花にも命があります。あなたに配慮の気持ちがあれば、お花はあなたにもっと美しい笑顔をくれるでしょう。)
- 73) 温馨提示：花果正微笑 请您手留情 (優しいお知らせ、果樹は微笑んでいます。配慮のお気持ちを。)
- 74) 请勿打扰 花儿含羞笑 (邪魔しないでください、お花ははにかんで微笑んでいます。)
- 75) 呵护 微笑多一点 心靠近一点 (愛護の気持ちを、ちょっと微笑むと心が少し近づきます。)

76) 以下は草木とその標示をみた相手に何らかの心のつながりを求める形の例である。草木と人間との間に心を通わすことはなかなか表面的に表れないが、人間の側からは心を通わせる相手として扱い、思いやりの気持ちをもって、植物を守ることを訴えかけている。

- 76) 花草给我一片绿 我给花草一份爱 (草花に私に緑を与え、私は草花に愛を与える。)
- 77) 一花一草皆生命 一枝一叶总关情 (草花にはみな命があり、一つ一つの枝や葉を思いやろう。)
- 78) 心灵的沟通 不需要过多的语言 爱护花草 人人有责 (気持ちを通わすには、多くの言葉はいらない。草花を守るには、それぞれに責任があります。)

以下の例は、擬人化の例ではないが、注意が述べられ、後半は相手の行動が植物の美しさを保つ

というロジックで作られている。草木を「美しさ」や「青々しさ」などの表現にし、その「美しい」、「青々しい」植物を守るよう訴えかけたものである。

- 79) 除了你的脚印什么都别留下 除了你的记忆什么都别带走 (あなたの足跡以外何も残さないでください。あなたの思い出以外に何も持ち帰らないでください。=ごみの持ち帰りを促し、自然のものを取ったりしないことを促す。)
- 80) 带走的花儿生命短暂 留下的美丽才是永远 (持ち帰ったお花の命は短い、残した美しさこそが永遠のものです。)
- 81) 绕行三五步: 留得芳草绿 (少し遠回りしよう、美しい緑が残ります。)
- 82) 温馨提示: 茵茵绿草地 不要留足迹 (優しいお知らせ、青々とした芝生、足跡を残さないでください。)
- 83) 足下留情 春意更浓 (足元には配慮を、春の気分(青さ)がより増します。)/ 足下留情 家园常绿 (足元には配慮を、庭はいつも緑です。)
- 84) 茵茵绿草地 脚下请留情 (青々とした芝生、足元には配慮を。)
- 85) 只有行为美 草儿才常青 (美しい行動をしてこそ、草たちはいつも緑を保てます。)
- 86) 温馨提示: 距离产生美 谢绝亲密接触 (優しいお知らせ、距離が美しさを生みます。密な接触はお断りします。)
- 87) 公园美如画, 全靠你、我、他。(公園は絵画のように美しく、すべてはあなたやわたしや彼にかかっている。)
- 88) 美丽就在你的珍爱下 (美しさはまさにあなたの大切にす気持ちの元にあります。)
- 89) 手下留情 脚下留青 (配慮の気持ちを、足元には緑を。)
- 90) 温馨提示: 小草青青 脚步轻轻 (優しいお知らせ、草たちは青々とし、足元はそっと。=踏まないで。)
- これらの環境保全の表現は、さらに抽象的になると対句的、スローガンのものとなり、また、簡潔な表現になる。そして、対句的、スローガンのものになれば、89)の“情”と“青”、90)の“青青”と“轻轻”のように発音をそろえるものもでてくる。そして、今回取り扱わないが、通常の植物保護、自然保護の表現は以下のような、対句的、スローガンので短く簡潔でオーソドックスなものである。
- 91) 爱护生命 享受自然 (生命を守り、自然を享受する)
- 92) 爱护小草 关怀生灵 (草木を愛し、生きとし生けるものに配慮する。)

4.5.4 禁煙表現

禁煙の表現は、以前は、“禁止吸烟”、“请勿吸烟”と直言的なものばかりであった。その後、公共の場での禁煙がいわれ始めると、“无烟区、无烟商场”という表現が登場した。そして、近年では、93)や94)のような抽象的に禁煙を促し、伝えるものもでてきた。

- 93) 温馨提示: 小小一支烟 危害万万千 (優しいお知らせ、たった一本の煙草で、大きな害を及ぼします = 禁煙)
- 94) 营造无烟环境 倡导绿色生活 (無煙(喫煙のない)の環境を作り、健康的な生活を提唱します = 禁煙)
- 95) 感谢您不吸 / 感谢您不吸烟 (煙草を吸わないことに感謝いたします。)

93)、94)は禁煙の行為回避型である。それぞれ、タバコの弊害、身体への危害を伝えることで、禁煙を促している。そして、注目95)である。4.3でみた謝辞とはまた異なった形で、もちろん「禁煙」をお願いするものではある。しかし、日本語の「いつもきれいにお使いいただきありがとうございます

ざいます」にも似て、感謝の押しつけにもみえる例である。

こうしてみると禁煙の表現については、直言的なものから、“无烟”を用いる例、スローガンのような行為回避をした表現、そして、95) のような例までである。

5. まとめ～アンケート結果⁴⁾ から総合的に考える

以上、中国語の禁止・注意表現をポライトネス的な観点からみてきた。一方で、母語話者の目にはどうみえているのかも確かめるべく、アンケートも実施した。アンケート結果と合わせて、中国語の禁止・注意表現について、改めて考えてみたい。

5.1 アンケート結果からさらにみなおす

筆者は、中国語母語話者の目にこれら表現がどう映っているのかを確かめるために、中国語母語話者 14 名にアンケートを行った。

アンケートで聞いたことは二つに大きく分けられる。一つ目は、禁止・注意表現の強弱の度合いである。ほぼ全員が“严禁”、“禁止”、“不准”の順に並べた。“勿”、“莫”については同等と考える人もいたが、“勿”を先に上げる人のほうが多かった(10名)。そして、“请不要”、“请您/你不要”についても、同等ととらえる人もいたが、二人称“您/你”を足したほうがより弱まるとの回答を得た(10名)。あまり、こちらの強い意図はいわず、ただ並べてみてくださいと指示したので、その違いを意識できなかった人もいたかもしれない。また、アンケートからは、語気助詞、“亲”などが入ったものはより禁止の度合いが弱まっているという印象も受けた。

二つ目は、4.5 以下で挙げた行為回避の表現をみてもらい、三つの質問をした。

Q1：对这些公示语的说法有什么印象？平常生活中，注意到这些标语吗？（このような標示の表現にどのような印象を持ちますか。日常生活においてこれら標示に気が付きますか。）

Q2：对遵守不遵守这些公示语有什么看法？（これら標示について守るかどうかについてどのような考えをお持ちですか。）

Q3：您看这些公示语小孩子看得懂吗？（これらの標示を子供は見てわかりますか。）

Q1 については、読み手である中国語母語話者の目に、しっかりと配慮表現として映っているのか確かめたかったのである。後半の「注意を向けるか」には異論はなく全員「注意を向ける」と回答した。また、標示の印象については、全体的には“亲切（親しみを覚える）”、“轻松（負担にならない）”、“比较活泼，读起来让人更容易接受（生き生きとしており、受け入れやすい感じ）”、“委婉的说法会令人心情舒畅但强制力不足（婉曲な表現は、心地よいものではあるが、強制力に欠ける）”のような、筆者のイメージする回答を得た。しかし、以上で紹介した例えば、35) は正式で厳粛なものにみえるという回答を出した人もいた。公共的なスローガンのようにみえる文体とそうでないものが母語話者には瞬時に見極めることができるようである。非母語話者の筆者にはそう簡単ではない。

Q2 は、注意を向けた上で、どう思うかという率直な意見を求めた。「当然守るであろう」、「心地よく守りたいと思える」という多くの回答がある中、「(ゴミや自然保護のものは特に) 守らない人もいる」、「あまりにもひどければ、指摘するだろう、そういう人は“素质不高/没有素质（モラルがない、人としての資質が低い）”」という回答もあった。厳格なより書面的なものであれば、「ルール」とし

て受け止め、守れるが、それが弱まると守ろうとする気持ちも弱まるようだ。

Q3は、これら表現について、調査の過程で、特に植物保護の擬人表現について、子供向けではないかとの指摘を受けたことから中国語母語話者に向けて、この質問を設けた。

回答をまとめると、字が読める子供には問題なく理解できるだろう。一部読めない字がある場合は理解できないという見解になった。そして、児童には難しい、小学校高学年にもなればわかるというのがアンケート全体の見解である。“有些不一定能看懂，有些是‘言外之意’对孩子来说有些难。（いくつかはわかるとは限らない、また、「言外の意」は子供には理解がいくらか難しい）”という回答もあった。具体的に“畜養”、“攀”、“君”をあげて、年齢の低い子供たちには理解できないかもしれないという回答もあった。

ここまでくると未就学児の識字率という問題にもなってくるわけだが、調べてみると“幼儿500个最常用汉字学习（未就学児の最も常用の500字の漢字学習）”のような表現におつかる。500字でこれは語彙レベルでないとすれば、やはり小さな子供向けというには難しい。そして、大人向けともいえず、配慮表現の一つのバリエーションでしかない。

5.2 ポライトネス的な視点から

中国語の禁止・注意表現は、ポライトネス的な視点で分類すると以下のようになる。

- | | |
|-----------------|--|
| ①直言 | 严禁……、禁止……、不准……、勿……、莫……、免……
谢绝……、小心……、当心…… |
| ②口語表現の追加、二人称の追加 | 请勿……
请不要……、请您不要……、……哦、亲！…… |
| ③謝辞 | ……。谢谢合作！、感谢您 / 你……。 |
| ④理由・目的を伴う | 为了您的……，请……。 |
| ⑤読み手への呼びかけ | 你 / 您，尊敬的……，亲爱的……，亲！ |
| ⑥優しい注意 | 温馨提示：…… |
| ⑦行為回避 | 擬人表現、婉曲表現 |

①の直言から、②～⑦に出てきたマーカーやストラテジーでもって、相手への配慮がなされる。“请”をきっかけに、謝辞を入れたり、二人称“您 / 你”を追加したり、標示を読む相手に対して、“尊敬的……”と敬意をもって呼びかけたり、心からの注意喚起であることを伝えるべく“温馨提示”などを挿入して、強い禁止とならないように配慮した表現までが存在していることがわかる。

また、これらはそれぞれにでてくるわけではなく、これらを混ぜて出てくるものまであった。もちろん、直言的なものは短く簡潔に、書面語が使われるが、<禁止性>が弱まっていくにつれて、上記手法を用い、注意喚起を行うことが伺える。

街の標示、看板は読む人との親疎関係については、疎である前提で示すことになるが、第三次産業の空間では、お願いするという立場から、強い禁止だけでは伝わらず、読み手を配慮した表現も昨今はでてきている。中には機知にとんだ配慮表現もあり、さほど厳格な場でなければ、このような表現で読み手にアプローチするものも今後増えてくるだろう。

また、自然保護、植物保護の表現では、「我々人間も生き物であるが、相手（植物）も生き物である」というアプローチで、擬人化し、読み手への配慮がなされた表現がかなり多くあった。ただ、「摘むな、折るな、踏むな」というよりは、親近感もて、読み手の注意をひきやすく、理解を求めやすくなるのだろう。

小野 2018:157 には、「中国語では依頼や禁止、注意喚起を行う場合に、その理由や目的を受け手に推察させることなく、それを全て言語化して示す頻度が高い」、「不特定多数の人に文章で告知するものは、一般に理由や目的をいちいち文面に併記する率が高い」とある。これについては、細かな注意事項を述べる際に限って触れて述べているかもしれないが、今回の注意・禁止表現の例からは、配慮の過程では、言語化されるものもあるが、配慮が進めば具体的には言語化しないものも増え、相手へ推察させることも求めている。

注

- 1) 今回取り扱うものは、中国（大陸）国内の街中の標示で、禁止・注意表現に限る。繁体字使用地域の街の標示は対象から外す。
- 2) Brown, Penelope, Levinson C.Stephen1978 や Grice.P1989. など参照。
- 3) 類似の表現に、“游客止步（観光客はこれ以上進めません＝関係者以外立ち入り禁止）/ 读者止步（読者はこれ以上進めません＝関係者以外立ち入り禁止、書店の標示）”があるが、「立ち入り禁止」とはいわず“止步（歩みを止める）”とやや婉曲的な表現で、立ち入らないように促している。
- 4) アンケートは、2019年9月に北京在住の20代から40代の男女14名に行った。

参考文献

- 小野秀樹 2018 『中国人のこころ「ことば」からみる思考と感覚』 東京：集英社新書
- 李奇楠 2011 「禁止表現の日中対照」『日本語コミュニケーション研究論集 第1号』、日本語コミュニケーション研究会・編
- 彭广陆 2018 「禁止文に関する日中対照研究－看板・掲示物にみられる法用を中心に－」『日中言語研究と日本語教育』第11号
- Brown, Penelope, Levinson C.Stephen1978.Politeness Some universals in language Usage. Cambridge : Cambridge University Press (『ポライトネス 言語使用における、ある普遍現象』2011 田中典子監訳 齋藤早智子・津留崎毅・鶴田庸子・日野壽憲・山下早代子訳 東京：研究社)
- Grice.P1989.Studies in the Way the Way of words.Harvard University Press (『論理と会話』1998 清塚邦彦訳 東京：勁草書房)

(本学法学部准教授)